

# やまなし 交通安全情報

170号

秋の全国交通安全運動

9月21(火)日から30日(木)

# 高齢者、二輪車の事故防止へ

街頭指導で交通安全を呼びかける韮崎交通安全協会の役員ら  
 甲斐市竜王の赤坂台総合公園(ドラゴンパーク)入り口



韮崎東中生徒に自転車の事故防止を呼びかける韮崎交通安全協会の役員ら  
 =韮崎市藤井町

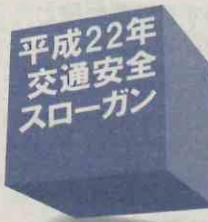
9月30日(木)は  
交通事故死ゼロ  
を目指す日

交通事故は記録に残る昭和43年以降、毎日発生しています。  
 一人ひとりが交通ルールを守り、交通マナーを実践し、交通事故のない安全で安心な社会を築きましょう。



同期間中の運動スローガンは「運転は人に社会に思いやり」。交通事故死者数に占める割合が高い高齢者への事故防止を全国共通の運動基本に据えるとともに①夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の事故防止(特に反射材用品等の着用の推進)②全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底③飲酒運転の根絶を掲げています。

また、県内では自転車などの事故が多発していることから、「二輪車の交通事故防止」を重点目標に掲げ、小中学生などに注意を呼び掛けていきます。



その電話 運転席では圏外です  
 安心を 光で届ける 反射材  
 さあかくにん ライト ブレーキ ヘルメット



## 安全のために

の昨年1年間の交通事故  
は38人と、実に57年ぶり  
結果となり、「交通戦争」  
死者が多くった昭和44  
比較しますと、約6分の  
1にまで減少しまし  
た。

## 高齢者の交通事故抑止と思いやり運転

山梨県警察本部交通部参事官  
佐野俊夫



「1日に平均13・5人」「1時間47分に1人」。

この数値は、昨年全国で発生した交通事故死者数の換算値です。昨年、全国では4914人の尊い命が交通事故の犠牲となりました。このうち65歳以上の高齢者の数は、2452人に上り、全体の約半数を占めています。

一方、山梨県内の昨年一年間の交通事故による死者数は38人と、実に57年ぶりに40人を下回る結果となり、「交通戦争」と言われ過去最も死者が多かった昭和44年の227人と比較しますと、約6分の1にまで減少しました。

また、高齢者の死者数も前年の26人から13人と半減しましたが、それでも全死者数に占

める割合は34・2%と依然として高い  
況にあります。

帶に集中しているほか、高齢者が第一当事者となつた死亡事故が5件発生しています。

んでおり、このまま推移すると、10年後には30%を超える見通しだあると言われば、ます。

**山梨県警察本部交通部から**  
転に努めるとともに、地  
体験型の交通安全教室を  
、自らの車両技術の持  
たる上級者を確実に進む上  
そのため、高齢者対策は、今後の交通  
1・6倍となっています。

# 飲酒事故增加、根絕へ全力

# 上半期の事故件数、死者数、負傷者数まとめ

山梨県内の上半期における交通事故件数は2871件で、前年同期比で243件減

少、負傷者数は3690人で、こちらも前年同期比で45.1人減少しました（表1）。一方

て死者数は前年同期比と同様  
23人。人口10万人当たりでみ  
ると2・60人で、全国平均(1

事故が増加したとか挙げられます（表7）。発生件数は43件（前年同期比14件増）で、

「かり」はありません。犯罪です。飲酒運転の根絶に向けて、家庭、職場、地域ぐるみで「次回重複をさせぬ

者や自転車に注意を払い、「いやり」と「譲り合い」の持ちを持つことを心掛けてください」と思っています。

・69人)を大きく上回り、全負傷者数は58人(同20人増)、国ワースト10位と厳しい交通情勢となってています。昨年ゼロだった死者数は21人となっています。飲酒運転をするごとに「つい」や「うっ

間は明るい服装と反射材を用し「自らの命は自ら守る」という意識が大事です。自動車を運転する方は、歩

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と  
任意の自動車保険をつけましょう。

損害保険代理店  
株式会社 まいとう共済山利支店

甲府市丸の内二丁目16-1  
富士急ビル6階  
TEL 055-922-0681



## 南部



**南部茶をドライバーに配布**

南部安協は夏の交通事故防止県民運動中の7月30日、身延町総合文化会館前の国道で街頭指導を行いました。安協役員や各種交通関係団体の役員、セーフティレディーがドライバーに安全運転を呼びかけました。また、交通安全スローガン入りペットボトルの南部茶に啓発品のタグをつけたものを配布しました。



## 南甲府

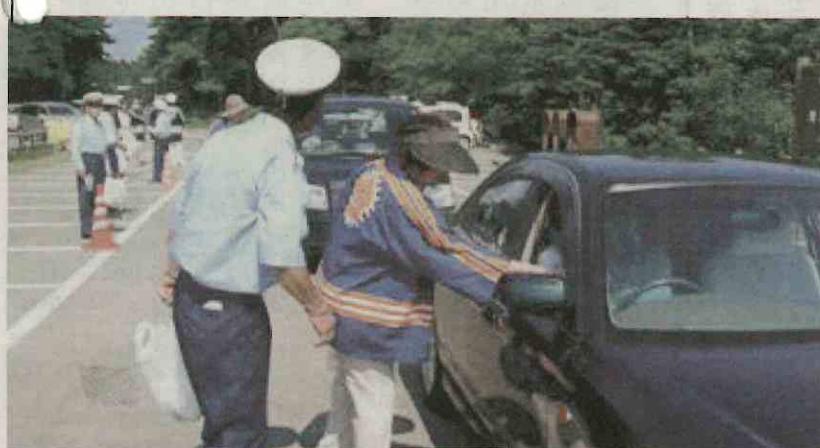


**ハンドルキーパー運動  
推進へ荻選手が一役**

南甲府署は「ハンドルキーパー運動」を推進するため、ヴァンフォーレ甲府のゴールキーパー荻見太選手を推進アドバイザーに起用。7月8日には荻選手がプレゼンターを務め、同運動に参加している約400事業所に推進を呼びかけました。7月23日には新山梨環状道路で街頭指導所を開設。小物ケース、反射材、ティッシュ等を配り、交通事故防止の徹底を図りました。



## 富士吉田



**観光客らに安全運転PR**

富士吉田安協は7月22日、山中湖駐在所前駐車場で「高齢者、子供の交通事故防止貢指揮所」を開設しました。観光客でにぎわうこのシーズンは交通事故も多発します。当日は地区安協役員約100人が参加。地元ドライバーや観光客らにチラシや啓発品を配布しながら、高齢者、子供を中心とした交通事故防止を呼びかけました。



## 北杜



**好評のマスコット製作**

北杜安協は、夏の交通事故防止県民運動の一環として、北杜市高根町の北杜ふるさと祭り会場に街頭指導所を開設しました。運動の重点を記したうちわを作成し、大勢の人でにぎわう祭り会場で配布し交通安全を呼びかけました。秋の全国交通安全運動には、毎年好評の女性部手作り交通安全マスコット2千個をドライバーに配布します。



## 日下部

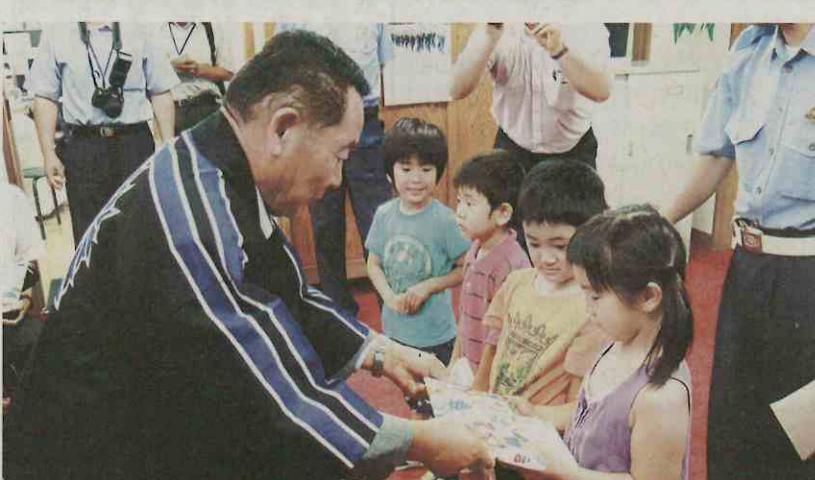


**ガーネンピックを小学校に贈る**

が車にはねられる人身事故が発生。これを受け、安協では「デンビック」を製作し、管内の小学校24校に贈りました。7月21日には、日下部署主催の街頭指導所を開設し、ドライバーや歩行者にチラシや啓発グッズを配布しました。8月4日には日下部安協夏期研修会を開催。水地会長が、「飲酒運転根絶（ゼロ）宣言」をし、交通安全意識高揚を図りました。



## 鰐沢



**祖父母に「孫レター」**

鰐沢安協は高齢者の事故防止に役立てようと、園児が祖父母宛に手紙を送る「孫レター」を行い、7月15日に鰐沢署で贈呈式を実施しました。レターの表面は、歩行中に事故に遭わないための注意事項を記載。裏面に園児がメッセージを添えました。祖父母らは「お守り代わりになる」と大喜びでした。また7月21日には富士川大橋で街頭指導を行い、反射材付きのペットボトルやチラシを配布しました。



## 地区安協の活動

## 地区安協の活動

### 甲府



**小学生も積極的に参加**

甲府安協石田支部と石田地区交通少年団は8月、交通危険標示マップを基に11カ所で路面への足跡マークのペイント活動を実施しました。新田支部では7月、のぼり旗60本を作製。甲府運支部では、小学生交通安全学習会を開催し、「交通安全あいうえお表」などを配布しました。里塙支部では同地区の交通少年団員を対象とした自転車教室を開き、安全な走法などを学びました。

### 韮崎



#### 通勤者や中学生に 安全運転呼びかけ

韮崎安協は7月21日、竜王、敷島、双葉の3地区で、夏の事故防止県民運動街頭指導を展開しました。甲斐市、韮崎警察署などの協力の下、朝の通勤時間帯に安全運転を呼びかけました。7月14日には韮崎東中校門前で自転車通学する生徒にチラシなどを配布。同日は甲斐市の赤坂台総合公園(ドラゴンパーク)でもシートベルト着用を促す街頭指導を行いました。

### 南アルプス



#### 6カ所で一齊に街頭指導

南アルプス安協は、7月21日、信玄橋西詰交差点、小笠原橋北詰交差点など6カ所で、夏の交通事故防止県民運動に伴う街頭指導を実施しました。安協メンバー、南アルプス署員、同市関係者ら約200人が参加。通勤時間帯の午前7時半から8時半までの1時間、チラシなどの広報啓発物を配布しながら交通事故防止を呼びかけました。

### 笛吹



#### 事故防止願い「帽止」ストラップ配布

笛吹安協では7月22日、夏の交通事故防止県民運動に伴い交通街頭指導所を開設しました。笛吹安協本部と支部のメンバーや笛吹市交通指導員、笛吹警察署員らが参加。安協女性部が事故防止になぞって「帽子」のストラップを作り、季節の花や団扇、ポケットティッシュなどと一緒に通行する車両の運転者等に対し、安全運転を呼びかけながら配布しました。

### 大月



#### 大月インター近くで街頭活動

大月安協は、夏の交通事故防止県民運動の一環として7月21日、街頭啓発活動を行いました。安協メンバーをはじめ、大月警察署員、同市交通指導員、母の会、安管会長など合わせて約50人が参加。国道20号の中央道大月インターチェンジ信号付近で啓発用品を配布し、交通安全を呼びかけました。



### 上野原



#### 国道20号などで街頭指導

7月21日、上野原市役所センター前で夏の交通事故防止県民運動の出発式が行われました。上野原安協、各種交通関係団体、市役所職員、警察署員らが出席。江口市長、薬袋警察署長、田中安協会長から激励の言葉をいただき、期間中の安全運転、交通事故防止活動に積極的に活動することを再確認しました。その後国道20号や市道で街頭指導を行い、啓発用品を配布し安全運転、交通事故防止を呼びかけました。

## 安協会員入会のお願い

山梨県交通安全協会は、免許証の取得・更新時に会費を任意でお願いしております。協力をいただいた方の会費は、皆様の住居地の交通安全協会が悲惨な交通事故を一件でも減らすために、街頭交通安全指導、自転車教室、高齢者安全講習等の各種活動を行っておりますが、こうした活動の経費として活用させていただいております。

### 交通安全協会会員の皆様への支援

#### 弁護士無料法律相談

会員が交通事故を発生させたか又は交通事故の被害者となった場合、損害賠償等で疑問があったときは当協会の委託弁護士による無料の法律相談が受けられます。

詳しくは、山梨県交通安全協会（☎055-280-5550）にお問い合わせください。

#### 交通事故見舞金制度

会員が不幸にして交通事故で死亡した場合や後遺症が生じた場合は、20万円を限度とした見舞金を交付しております。

#### 免許証ケース及び

#### セーフティー・ドライブマップの進呈

免許証の亡失、損傷を防止するため滑り止めのついた免許証ケースを進呈します。

#### Eメール会員へのサービス

運転免許の更新時期のお知らせや安全運転に役立つ情報を提供します。

## 「ハンドルキーパー運動」推進中

#### ハンドルキーパー運動とは？

自動車で仲間と飲食店などに行く場合に、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が、仲間を自宅まで送り届ける運動です。

山梨県交通安全協会では、山梨飲食業協同組合をはじめとする関係者との協力を得ながら飲酒運転の根絶を目指して、「ハンドルキーパー運動」を推進しています。

88% 山梨県民の願い！  
飲酒運転撲滅



爽やかな季節を迎えて、秋の気配が次第に濃くなっています。皆様には健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。過日開催されました、山梨県交通安全協会定期理事会におきまして、会長に選任いただきました小澤でございます。

財団法人山梨県交通安全協会は、大正13年に「山梨交通協会」という名称で官営組織として生まれ、昭和23年9月に従来の官営組織を民間組織に改め、財団法人山梨県交通安全協会として生まれ変わったわけですが、初代会長に山梨交通の創立者である矢崎源之助氏が就任し、昭和31年4月には第2代会長に山梨交通専務の金丸康三氏が就任するなど、発足当時から深い縁を感じているわけでございます。

当協会は、多くの会員や歴代の会長が脈々と続く歴史と伝統を守り、民間の交通安全活動の中核的団体として活動しております。そ

の皆様をはじめ関係機関、団体の支援と協力をいただき協会の発展のため、その重責を果たして

## 健全な交通社会の実現へ

山梨県交通安全協会会長 小澤 建雄



交通事故が減少しているとはいってまだ多くの尊い命が他人の不注意によって奪われている現状を鑑みますと、交通事故の抑止は引き続き県民の安全・安心にとって最大の課題であります。当協会といたしましては、交通事故の減少が県民への究極のサービスであると認識し、健全な交通社会実現のため、時代や環境の変化を敏感に感じとり、新しい時代にふさわしい活動を展開し、県民の期待に応えて参ります。

さらに、公益法人としての役割を十分理解し、県民の皆様に信頼を得たいとする交通安全協会となるよう積極的に活動していくことを考えております。

結びになりましたが、皆様のご健勝を祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

の団体の会長に就任し、責任の重さを感じているところでございま

さて、近時の県内の交通事故発生状況は、発生件数、負傷者とも減少しているものの、飲酒事故や死亡事故が昨年より増加するなど厳しい交通情勢となっておりま

す。

交通事故が減少しているとはいってまだ多くの尊い命が他人の不注意によって奪われている現状を鑑みますと、交通事故の抑止は引き続き県民の安全・安心にとって最大の課題であります。当協会といたしましては、交通事故の減少が県民への究極のサービスであると認識し、健全な交通社会実現のため、時代や環境の変化を敏感に感じとり、新しい時代にふさわしい活動を展開し、県民の期待に応えて参ります。

さらに、公益法人としての役割を十分理解し、県民の皆様に信頼を得たいとする交通安全協会となるよう積極的に活動していくことを考えております。

結びになりましたが、皆様のご健勝を祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

## 女性部登場

5 上野原交通安全協会  
4 支部66人で構成



女性部は、上野原、小菅、丹波山及び秋山の各支部に所属する66名の協会員で構成されており、各支部女性部役員が各地域で交通安全啓発活動に活躍しております。私が

女性部は、上野原市は山梨県の東の玄関口であり、高速道路や国道

は、土日の午後3時頃になると商業地からの帰りの車で渋滞となり、追突事故が多発する状況です。このような地域

にわたり、交通安全啓発活動にご尽力いただいた和田前会

長から、田中新会長に交代しました。上野原交通安全協会

は、土日の午後3時頃になると商業地からの帰りの車で渋

滞となり、追突事故が多発する状況です。このような地域

にわたり、交通安全啓発活動にご尽力いただいた和田前会

長から、田中新会長に交代しました。上野原交通安全協会

は、土日の午後3時頃



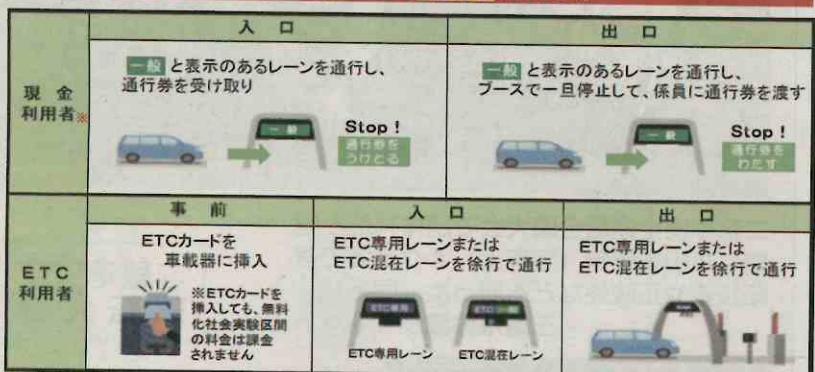
## 中日本高速道路株式会社

### 高速道路

#### 無料化社会実験～ご案内～

期間 平成22年6月28日から平成23年3月31日まで実施します。

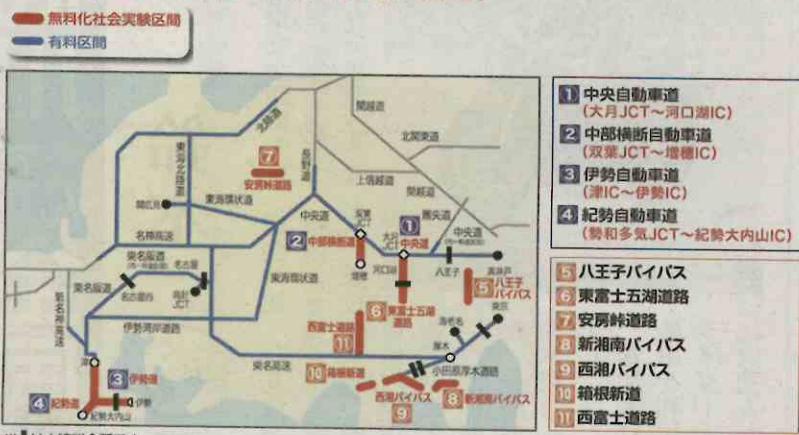
無料となるご利用も、有料となるご利用も、通行方法は従来と同じです。  
ETC車はETCカードを車載器に挿入のうえ、ETCレーンをご通行いただき、現金車等(ETC車以外)は、一般レーンで一旦停止してください。



注)社会実験として、効果把握や実験所要額の精算のため、正確な交通データの収集が必要であり、従来どおりの方法での通行をお願いするものです。

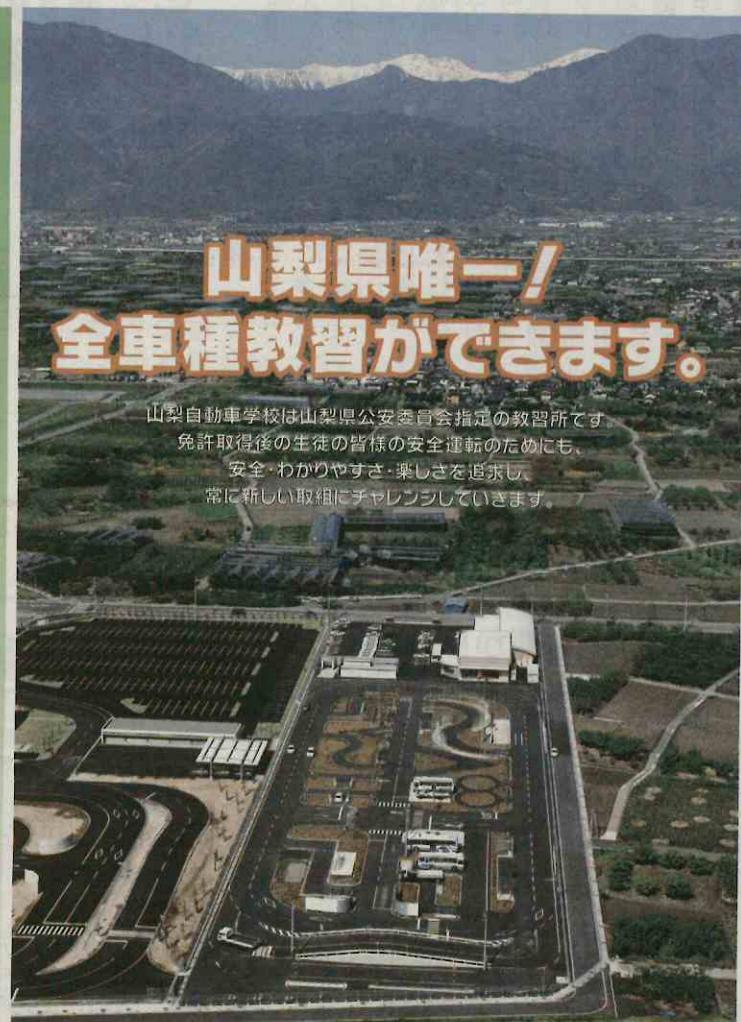
\*東富士五湖道路(富士吉田及び須走料金所)に通行券はありません。料金精算機前で一旦停止いただき、開閉バーが開くのを確認のうえご通行下さい(開閉バーは一台ずつ開きます)

対象路線 NEXCO中日本の無料化社会実験区間



NEXCO  
中日本

## 山梨自動車学校



山梨県公安委員会指定

## 山梨自動車学校

山梨県南アルプス市下高砂847

TEL.055-285-0752 FAX.055-285-0701  
URL: http://www.y-ds.jp/ i-mode: http://www.y-ds.jp/i/

年中無休

0120-915752

## 山梨県軽自動車協会

### ライフルラインとしての軽自動車

660ccの小さな排気量で、しかも少ない原材料で車両重量も軽い軽自動車は、省エネ、省スペース、低燃費等、環境に優しい車として多くのユーザーから支持され、更に地方では、日常生活の「足」となって活躍しています。

この結果、全国の軽自動車の保有台数は、2010年3月末では2,665万台と全自動車の保有台数7,518万台の35.5%の普及率となっており、県内でも、29万台を超える全自動車の保有台数69万7千台の41.7%と全国平均を6.2%上回る普及率となっています。

また、09年の軽自動車保有台数と世帯当たりの普及台数では、関東エリアで第1位、全国でも第8位となり、100世帯当たり84.3台と世帯当たりの台数の拡大が進み、本年もこの傾向は続くものと考えられます。

軽自動車の使用実態については、日本自動車工業会が各年で調査を継続しており、09年度の軽自動車の使用実態調査結果では、軽自動車を選択した理由として、「経済面」をあげる比率が73%を占め、経済的負担が少ないことが意識される傾向が続き、また、特に選択理由として「燃費が良い」との声も増加しています。

このほか、交通不便地域の足としての観点では、代替手段として、通勤、通学や買物などの日常生活の移動手段として使用されることが多く、人口規模が小さくなるほど軽自動車の使用率は高くなっています。

女性の足としての観点からは、主用途は「買物」が最も多くなっています。また、女性ユーザーの80%以上が既婚女性であり、既婚女性の就業率が高い県ほど高い普及率となっています。

このように軽自動車は、地方の街では交通手段を支える足として、高齢者や女性にとって暮らしの頼れる移動手段として、更には環境に優しい乗り物として、クルマ社会の未来を担っていくのではないでしょうか。

### 市郡区分別車種別世帯別等軽自動車保有台数

地域名	世帯数	保有台数	100世帯当たり台数	就業者数	女性の就業者数	女性の構成率	女性の免許構成率
県合計	328,786	290,619	88	440,270	187,375	42.56%	24.8%
市郡合計	283,178	245,616	87	375,250	159,926	42.62%	24.8%
郡部合計	45,608	45,003	99	65,020	27,449	42.22%	24.4%
甲府市	85,839	49,961	58	91,232	39,464	43.26%	22.78%
富士吉田市	17,714	16,013	90	27,118	11,547	42.58%	26.06%
都留市	13,535	9,546	71	16,565	7,098	42.86%	23.69%
山梨市	13,430	15,995	119	20,159	8,890	44.10%	26.75%
大月市	10,415	8,782	84	13,976	5,662	40.51%	20.92%
韮崎市	11,733	12,236	104	16,744	6,998	41.78%	24.93%
南アルプス市	24,709	28,661	116	38,162	16,204	42.46%	26.97%
北杜市	16,588	19,899	120	26,098	11,316	43.36%	26.97%
甲斐市	28,956	22,413	77	37,668	15,283	40.57%	24.55%
笛吹市	26,181	28,987	111	38,649	17,096	44.23%	28.15%
上野原市	10,232	6,810	67	13,273	5,297	39.91%	20.95%
甲州市	11,931	15,304	128	19,135	8,283	43.18%	26.81%
中央市	11,915	11,009	92	16,473	6,808	41.33%	25.71%
西八代郡	5,824	6,321	109	8,819	3,737	42.37%	23.82%
南巨摩郡	15,049	15,628	104	21,268	8,920	41.94%	22.22%
中巨摩郡	6,927	5,730	83	9,096	3,721	40.91%	27.02%
南都留郡	17,125	16,695	97	25,072	10,766	42.94%	26.12%
北都留郡	683	629	92	765	305	39.67%	18.93%

\*保有台数は、平成22年3月末現在(全国軽自動車協会資料)

\*世帯数は、平成22年6月1日現在(山梨県の推計人口と世帯数(企画県民部統計調査課資料))

\*就業者数は、平成17年度国勢調査・都道府県別 男女別就業者数(総務省資料)

\*平成22年6月現在 市町村別、年齢別、免許保有状況資料(警察本部資料) ■は、上位5位

### 安心・安全なバスの運行をめざして

## (社)山梨県バス協会

7月3日、山梨運輸支局主催の「バリアフリー教室」が開催されました。山梨県バス協会では例年この教室に協賛しており、会員事業者のバス乗務員が参加しています。

当日は、聴覚障害者の交通バリアフリーについて、体験談を交えた手話による講義と、笛吹市社会福祉協議会の担当者による車椅子利用者に対する支援のポイント等の解説を聞いた後、障害者

・高齢者の疑似体験が行われました。

参加者は、講義では簡単な手話を覚えたり、疑似体験では、車椅子を使用したり、アイマスクや高齢者疑似体験セットを着用した状態で、実際にバスへの乗り降りを体験。自分の体を動かして経験することで、利用者の立場に立った支援の仕方についてより理解を深めたようです。

山梨県バス協会加盟バス会社は、今後もこのような講習会を通して、皆様に安心してバスをご利用いただけるよう努めてまいります。

### 山梨県タクシー協会

#### 運転免許返納者に対する運賃割引のお知らせ

高齢化社会を迎える国民が免許時代に免許を取得した方々のうち、加齢による視力・聴力・注意力等々、身体機能の衰えにより自動車交通事故の加害者、被害者となる事故が県内では年々増加しており、大きな社会問題となっています。

そこで、山梨県タクシー協会では、高齢者の交通事故防止と新たな利用者の拡大を図るために、自主的に運転免許証を返納した場合、従前と変わらない移動をしていただくために、タクシー利用者に対し運賃の割引を実施しております。

実施地域：山梨県全域(会員91事業者中80事業者実施)

適用範囲：『運転経歴証明書』を提示して割引を申し込んだ場合に限り適用します。

割引の併用：運転免許返納者割引は、他の割引との併用はできません。

割引率：1割(10%)

割引の対象区間：運転経歴証明書持参者が乗車した区間。

その他：運転免許取消申請等については最寄りの警察署へお問い合わせ下さい。



バリアフリー教室の様子